

ワールドマスターズゲームズ 2017 オークランド大会 開会式等視察報告

2021 年に開催されるワールドマスターズゲームズ関西大会に向けて、ニュージーランド・オークランドで開催されるワールドマスターズゲームズ 2017 の開会式に出席するとともに、競技視察、大会PR等を行いました。

◎実施日 平成29年4月20日(木)～22日(土)

◎主な参加者

井戸 敏三	WMG組織委員会 会長	(兵庫県知事)
三日月大造	同	副会長 (滋賀県知事)
山田 啓二	同	副会長 (京都府知事)
仁坂 吉伸	同	副会長 (和歌山県知事)
平井 伸治	同	副会長 (鳥取県知事)
新井 純	大阪府副知事	
一松 旬	奈良県副知事	
海野 修司	徳島県副知事	
村上 圭子	京都市副市長	
若林 陽介	国土交通省近畿運輸局長	

◎主な日程

日程	時刻	概要 (主な行事予定等)
4月19日(水)	(移動)	伊丹空港出発(14:10)・成田空港出発(18:30)
20日(木)	朝 午後 夜	オークランド到着 オリエンテーション、関西PRブース視察等 IMGAとの懇談
21日(金)	午前 午後 夜	大会競技視察 オークランド市長との面談 オークランド大会開会式視察
22日(土)	午前 午後	大会競技視察 関西PRイベント
23日(日)	(移動)	オークランド発

◎概 要

ワールドマスターズゲームズ（WMG）2017 オークランド大会開会式出席等

ア. オリエンテーション・関西PRブース等視察

○ 日時等：平成 29 年 4 月 20 日（木） 13:30～16:00

○ 場 所：メルキュールホテル内 会議室、イベント会場（クイーンズワーフ・クラウド）

○ 参加者：

井戸会長ほか開会式団参加者、在ニュージーランド日本国大使館 高田大使、
在オークランド日本国総領事館 横山総領事、オークランド日本人会 橋本会長 等

○ 内 容：

（オリエンテーション）

「今回のオークランド大会は、次期開催の我々関西が学ぶ場である。大いに学んで帰りたい。」などと挨拶の後、横山総領事から、「ニュージーランド及びオークランド情勢等」について、日本との政治経済上の結びつきの強さ、スポーツ大国としての同国の戦略等の説明を受けた。続いて関西大会組織委員会事務局からオークランド大会の競技及び参加者等についての報告とともに、現地における関西大会のPR状況等の説明を行った。

さらに、オークランド日本人会（会員数約 450 人）の橋本直江会長から同会の交流活動の状況等を説明いただき、最後に高田大使が挨拶され、「自分もニュージーランドでラグビーW杯日本大会やWMG関西大会をPRしている。JETプログラムで日本にいる外国人によるボランティア協力も活用するべき。」などと提案があった。

（関西PRブース視察等）

関西PRブースは、大会の期間中、選手受付・イベント会場の入り口に隣接し、人目を引く場所に設置され、関西大会の会場地を示すポスター展示やPR映像の上映、関西の府県政令市の観光パンフレットの配布のほか、伝統文化の紹介・体験（折り紙）等を実施している。イベント会場への行き帰りに多くの参加者がブースに立ち寄り、熱心に担当者の説明を聞くとともに、満開の桜の写真の前で関西大会の公式マスコット「スフラ」との記念撮影等を楽しんでいた。当該ブースの運営やPR活動には、日本人留学生やオークランド日本人会の方々にボランティアとして積極的に協力いただいております、イベントの盛り上げ等に大いに活躍されていた。

また、クラウドと呼ばれるイベント会場では、大会の参加者受付窓口のほか、公式グッズの販売や飲食コーナーなどといった様々なブースが設けられ、各国からの競技参加者や観光客の交流の場として賑わっていた。



イ. 大会関係者との面談等

① 国際マスターズゲームズ協会との懇談

○ 日 時：平成 29 年 4 月 20 日（木） 19:30～21:15

○ 場 所：在オークランド日本国総領事公邸

○ 参加者：

（IMGA）

カイ・ホルム会長、ボブ・エルフィンストン理事、イエンズ・ホルム事務局長、
サマンサ・ヘイワード部長

（組織委員会）

井戸会長、三日月副会長、山田副会長、仁坂副会長、新井大阪府副知事、一松奈良県副知事、海野徳島県副知事、村上京都市副市長、大西事務局長 ほか

(国)

鈴木スポーツ庁長官、若林近畿運輸局長、高田ニュージーランド大使、
横山オークランド総領事

○ 内 容 :

(鈴木長官)

鈴木スポーツ庁長官から「2019年ラグビーW杯、2020年東京オリンピック・パラリンピックとスポーツを支える、見る国際大会の日本開催が続く。自分も今回10kmマラソンに出場するが2021年のWMG関西は皆で参加する大会にしていきたい。」との挨拶があった。

(カイ・ホルム会長)

カイ・ホルム会長は「IOCとIMG Aが覚書を調印するなど、WMGに世界の目が向けられている。関西大会は、五輪の次年にWMGを行う最初の良いサンプルとなる。日本を心から信頼しており、関西大会の成功を祈る。」と述べた。

(井戸会長)

IMG Aに対し関西PRブースの設置について謝意を伝えるとともに、「オークランド大会はスマートな運営をされている。閉会式には、関西経済界がチャーター機で訪問する。大会旗とオークランド大会の成果をしっかりと関西大会に引き継いでいきたい。」と大会の成功に向けた決意を述べ、その後、温かい雰囲気の中、歓談が行われた。

オークランド市長との面談

○ 日 時 : 平成29年4月21日(金) 15:00~15:20

○ 場 所 : オークランド市役所

○ 参加者 :

(オークランド市)

ゴフ市長、ブレット ATEED CEO ほか

(組織委員会)

井戸会長、三日月副会長、山田副会長、仁坂副会長、平井副会長、新井大阪府副知事、一松奈良県副知事、海野徳島県副知事、村上京都市副市長、大西事務局長 ほか

(国)

鈴木スポーツ庁長官、高田ニュージーランド大使、横山オークランド総領事

内 容 :

(ゴフ市長)

ゴフ市長からは「大会の開催にむけてミスがないように取り組んできた。オークランド市民や市役所は、温かいおもてなしができるよう頑張っている。開会式もエキサイティングなものになると期待している。」と歓迎の挨拶が述べられた。

(井戸会長)

3月のオークランド市での大雨被害に対する見舞いの言葉の後、「実際に競技を視察し、参加者が活躍する姿を見てWMGは素晴らしいと感じた。リピーターが多い大会であり、オークランド大会参加者が関西大会にも参加いただけるよう今回PRに力を入れている。オークランド大会の成功を祈念する。」などと述べ、オークランド市と姉妹都市である加古川市との交流の進展等を含め、各方面にわたり意見交換を行った。



ウ. 競技視察

○ 視察日：平成 29 年 4 月 21 日(金)、22 日(土)

○ 内 容：

ソフトボール、水泳、ワカアマ(カヌー)、バドミントン、ウエイトリフティング、バレーボールなどの各競技会場を訪問し、会場における競技参加者同士の交流の仕掛けづくりや競技運営のノウハウ等について現地視察を行った。

各競技は、グレード別、年齢別などでグループ分けがなされ、それぞれのグループ毎に順位が付き、上位選手にメダルが授与される

(ソフトボール)

会場の“North Harbour Softball Stadium”は、観客スタンドを擁するスタジアムとソフトボール場が 16 面とれる全面芝生グラウンドからなり、多くの試合を同時に行うことができるソフトボール専用施設である。競技運営は競技団体が担うが、参加チームの受付などは地元ボランティア等により運営されていた。受付を済ませ試合準備中であったオーストラリアや南アフリカ等から参加の女子選手やコーチなどに対し、関西大会を P R するとともに意見交換を行った。

(水泳(競泳))

会場は、オークランド工科大学の複合スポーツ施設群である“AUT Millennium”。その中の一棟にある 50m×10 レーンの広いプールで競泳競技が実施され、ここでも競技の運営自体は多くのボランティアに支えられていた。視察時に行われていた女子 800 m 自由形競技には 79 歳の日本人が出場されており、同選手に向けて観客席から大きな声援を送った。

(ワカアマ(カヌー))

片脇に浮子(ウキ)のついた南半球特有のカヌーのレース競技「ワカアマ」は、ドラゴンボート等とともに、オークランド市街地近郊の静寂な淡水湖“Lake Pupuke”で実施。参加者は自身のカヌーを車等で牽引して会場に運び、湖岸に思い思いにテントを張るなどしてレースを観戦しながら試合前の調整を行っていた。また、レースの様子は、競技運営ブース内の放送席から会場に向けて実況中継されていた。



(バドミントン)

バドミントンは A (世界選手権レベル) から C (一般参加レベル) の 3 つのグレードに会場を分けて実施され、視察した“North Harbour Badminton Centre “は C グレードの会場。コート 10 面が並ぶ専用センターであるが、地域の日常的な練習場として活用されている体育館であり、施設内の食堂では選手同士が交流するなど、ボランティアの手によるコンパクトでフレンドリーな運営がなされていた。

(ウエイトリフティング)

会場は、水泳と同じ“AUT Millennium”内の体育館。「ウエイトリフティング世界マスタースターズ選手権」の共催大会として実施され、往年のオリンピックメダリスト等も競技に出場しているとのことであった。世界選手権であることから競技運営自体は国際競技団体の手によりなされていた。視察時には 80 歳を超える 2 名の日本人選手が出場中であり、関西大会応援大使・武井 壮氏らとともに観客席からこれら選手を激励した。

(バレーボール)

“The Trusts Arena”という主にコンサートやスポーツイベントを開催する多目的スタジアムを会場とし、男女、年齢別に 7 面のコートを使って同時に試合が実施されていた。1 コート数名のボランティアが競技をサポートし、選手の家族など観客は、選手が間近で見られるようコートの周囲に設置された応援席から声援を送っていた。

(ローンボウルズ)

関西大会においてデモンストレーション競技として神戸市及び明石市での開催が予定されているローンボウルズの会場 (Carlton Conwall Bowling Club) を訪れ、同クラブの Nick Krajancic 会長並びに認定 NPO 法人ローンボウルズ日本の森理事長からローンボウルズのルールや歴史、国際的な競技規模等について説明を受けるとともに、関西大会での競技実施に向けた意気込みを伺った。

今回、視察を行った各会場では、自ら手書きのサインをした関西大会 P R カードを配りながら「是非とも関西大会に出場してください。」と多くの参加者に声をかけ、積極的に大会の P R を行った。

【関西大会 P R カード】

(表面)



(裏面)



エ. 開会式参加

- 日時等：平成 29 年 4 月 21 日(金) 19:30~21:00
- 場 所：イーデンパーク (第 1 回、第 7 回ラグビーW杯決勝戦会場)
- 参加者：

(組織委員会)

井戸会長、三日月副会長、山田副会長、仁坂副会長、平井副会長、新井大阪府副知事、一松奈良県副知事、海野徳島県副知事、村上京都市副市長、大西事務局長 ほか

(国等)

鈴木スポーツ庁長官、若林近畿運輸局長、高田ニュージーランド大使、横山オークランド総領事、泉 日本体育協会専務理事、山田 日本障がい者スポーツ協会常務理事、橋本オークランド日本人会会長 ほか

○ 内 容：

開始前からマオリグループによる音楽ショーが催され、会場が盛り上がる中、19 時 30 分に開会式が開始された。各国から集まった参加選手は、国別ではなく競技種目ごとに配席されたスタジアムの自席から開会式のセレモニーを観覧した。

最初に今大会実施全 28 種目の競技名が読み上げられ、マオリ族による民族舞踊が披露された後、大会組織委員会会長のウェルズ卿、ニュージーランドのイングリッシュ首相、オークランド市のゴフ市長らが登壇し「大会を大いに楽しんでほしい」とマオリ語を交えながら出場選手らを激励した。

引き続き、大会旗の掲揚、宣誓、ニュージーランド国歌斉唱が行われ、イングリッシュ首相により開会が宣言された。その後、華やかなレーザー光と音楽のショーが繰り広げられる中、選手や観客合わせて約 3 万人の参加者全員に事前に配られ、各人が手首に巻いたリストバンド型 LED ライトが、イベントプログラムの音楽と演出に連動して様々



な色に発光、点滅を繰り返し、会場全体が一体感に包まれた。

式の終盤、種目ごとに競技名がコールされた選手達は、観客席からイーデンパークのフィールドに降り、各自めいめいに国旗やユニフォーム等を掲げながら一団となって競技場内を練り歩き、開会式の会場を後にした。

開会式団は、スタジアムの4階の観覧室において、大会アンバサダー数名によるスポーツに関わるショートディスカッションを聴取するとともにIMGAのカイ・ホルム会長やブブカ理事をはじめとする多くのマスターズ関係者と歓談しながら、これらグラウンドにおける開会式のパフォーマンスを視察した。

オ. 鈴木スポーツ庁長官の10km マラソン出場

4月22日(土)早朝には、鈴木大地スポーツ庁長官が10km マラソンに出場した。

関西PRブース付近のマラソンスタート地点において、各府県の知事等とともにスタート前の鈴木長官を激励し、参加者全員で「ワールドマスターズゲームズ2021 関西、がんばるぞ!」と氣勢を上げた。

鈴木長官は、約370人の選手が参加する中、沿道の声援に手を振りながら自身初めての10km マラソンを1時間2分3秒のタイムで完走。競技後のインタビューにおいて「水泳選手の私が10km マラソンに参加したことにマスターズの面白さ、良さがある。2021年は皆が参加するスポーツイベントになればいい。」などと述べた。



カ. 関西大会PRイベント

○ 日時等：平成29年4月22日(金) 15:00~15:30

○ 場所：関西PRブース(クイーンズワープ内)

○ 出席者：

(組織委員会)

井戸会長、仁坂副会長、平井副会長、海野徳島県副知事、村上京都市副市長、大西事務局長ほか(国)

鈴木スポーツ庁長官、高田ニュージーランド大使、横山オークランド総領事

○ 内容

関西大会開催の機運の醸成及び大会認知度の向上を図るため、オークランド大会の参加者等に対して、WMG2021 関西のPRを行った。

井戸会長より「次回大会はアジアで初めて日本の関西で開催する。地域全体で皆さんをお迎えするので4年後の関西大会にも是非参加してください。」と参加者に呼びかけた後、関西WMG組織委員会及び国等の出席者で鏡開きを行い、続いてイベント会場を訪れた各国からの来場者に振る舞い酒が配られ、関西大会PRブースは多くの参加者で賑わった。

さらに関西大会で初めて開催されるグラウンド・ゴルフを紹介するため、井戸会長、平井副会長による始球式の後、一般の来場者を対象とした体験会が実施され、多くの外国人がグラウンド・ゴルフを体験した。



(参考) ○関西経済界等(約150名)による閉会式団 4月27日(木)~5月1日(月)